

これまでに進めてきたDXの取り組み

公共施設予約サービス

(会議室や体育施設の空き状況が一目でわかる)



公共施設の空き状況を確認したり、施設を予約することができます。

【対象施設例】

- ・北ガス文化ホール
- ・コミセン
- ・スポーツセンター
- ・学校開放
- ・総合武道館 など

【予約方法】

- ①目的、日時などから空き状況を確認
- ②対象施設を選択



キャッシュレス決済

(市役所窓口での手数料支払い現金不要)



利用できる決済

- ・クレジットカード
- ・電子マネー
- ・コード決済

【取扱窓口】

- ・戸籍住民課、税務課、会計課 (第2庁舎1階)
- ・向陽台支所

【対象】

住民票、戸籍謄抄本、各種税証明、狂犬病予防注射済票などの交付手数料、畜犬登録手数料など

デジタルドリルの導入

(小中学校でICT教育を推進)



家庭学習の習慣化を図るためにAI機能が搭載されたデジタルドリルを導入しました。

AIが子どもたちの学習状況に応じた問題を出題することで、一人ひとりの状況に応じた学習を進めることができます。



除雪車両位置情報提供サービス

(インターネットから除雪車両の位置情報を確認)



除雪車両の位置情報や走行軌跡を地図上にリアルタイムで表示し、スマートフォンなどで確認することができます。(冬季間のみ)

市公式LINEによる情報発信



千歳市 LINE 公式アカウント
「千歳市 (@cityofchitose)」



各種申請



転出届、上下水道の開始・停止手続きなどができます。

ごみの分別



ごみの分別方法や地区ごとの収集日がわかります。

窓口混雑状況



証明書発行や住所変更手続き待ちの人数がわかります。

バス案内



リアルタイムで運行情報や路線図などが確認できます。

特集

DXでめざまち

～デジタルで暮らしをより便利に～



インターネットが広く社会に浸透し、デジタルは私たちの生活に欠かせないものとなりました。
市が行う行政サービスにおいても、デジタル技術を積極的に活用し、誰もがより便利で、安心してらせるまちづくりをめざすため、今年度「千歳市DX推進計画」をつくりました。
今回は、【これまでに進めてきたDXの取り組み】と【新たに始まるDXサービス】について紹介します。

【詳細】行政管理課主査 (DX推進担当) ☎(24)3160 📠(22)8854

DXってなあに？

DX＝デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術を活用し、ビジネス、社会を根本から変え、生活をより良いものに変革していくことをいいます。

DXと聞くと難しい言葉に感じられるかもしれませんが、身近なものでは、インターネットによる買い物やスーパーなどのセルフレジ、ロボット掃除機などでDXが活用されています。

なぜDXが必要なの？

少子高齢化や人口減少が進む中、将来的な労働力不足への対応が社会的な課題となっています。

これらの課題に対応するため、国は、令和2年に自治体が重点的に取り組むべき事項をまとめた「自治体DX推進計画」をつくれたほか、デジタル庁を発足させるなど、デジタル社会の構築に向けた取り組みを着実に進めています。

市は、これまでも窓口のキャッシュレス化やインターネットから除雪状況が確認できるサービスの導入など、デジタル化に取り組んでおりますが、今後、行政サービスを将来にわたり安定的に提供し、市民サービスを更に向上させる必要があります。

千歳市DX推進計画とは？

デジタル化による利便性を実感できるまちづくりを進めるために、「デジタルで暮らしをより便利に未来を楽しむまち」として、将来目標に掲げ、その実現に向け、4つの基本目標(①市民サービスの向上、②持続可能な行政運営、③地域社会の活性化、④安心安全なまちづくり)を定めました。

《主な取り組み》

- 子育てアプリの導入
- デジタルデバイス(情報格差)対策の充実
- オンライン手続きの推進
- デジタルによる健康・医療の充実
- AI等の活用による公共交通
- カーボンニュートラルの推進
- ごみ収集のデジタル化
- 小中学校におけるICT環境の整備
- 窓口サービスの向上
- 各種申請等のオンライン化
- マイナンバーカードの普及促進
- キャッシュレス決済の推進
- 行政事務の電子化の推進
- スマート農業の推進
- Wi-Fi環境の整備
- 災害時等におけるドローンの活用
- わかりやすい行政情報の発信

※計画の詳細はこちら



今月から新たに始まるDXサービス

手続きが自宅や外出先でできる「行かない窓口」

何が変わる？

マイナンバーカードを持っていれば、市公式 LINE から住民票の写しや戸籍謄抄本など、私たちに身近な証明書の取得申請が、窓口に行かなくてもできるようになりました。

便利なポイント

- ①いつでもどこでもスマホから申請可能
- ②手数料はキャッシュレス決済
- ③証明書の受け取りは自宅で待つだけ（郵送）



手続きに必要なもの

- ①スマートフォン（マイナンバーカードの読み取りに対応したもの）
- ②LINE アカウント（申請者本人のもの）
- ③マイナンバーカード
- ④署名用電子証明書暗証番号（6～16文字）
- ⑤クレジットカードまたはPayPay（ペイペイ）

■利用できる証明書申請

- ①住民票の写し（世帯全員・一部）
- ②住民票の除票
- ③住民票記載事項証明書
- ④戸籍の附票
- ⑤印鑑登録証明書
- ⑥戸籍謄抄本（全部事項証明書・個人事項証明書）
- ⑦除籍・改製原戸籍謄本
- ⑧所得課税証明
- ⑨納税証明
- ⑩固定資産評価証明（最新年度のみ、所有資産すべて）
- ⑪固定資産公課証明（最新年度のみ、所有資産すべて）
- ⑫固定資産所有証明（最新年度のみ）

利用手順①

市公式LINE「各種申請」から「証明書種別」を選択し、電話番号、必要通数などを入力します。



利用手順②

マイナンバーカードをかざして本人確認をします。
※署名用電子証明書暗証番号が必要です。



利用手順③

手数料および郵便料をキャッシュレス決済します。
■クレジットカード
■PayPay



利用手順④

証明書を受領します。
※市から普通郵便で送ります。
郵便料が不足するときは、受取人払いとなります。



参加者の声

誰も取り残されないための取り組み 《スマホ講習会を年10回程度開催》



スマホ講習会参加者
清水 さん

スマートフォンは持っていましたが、操作が難しいし、どう使えばよいかわからずにいました。そんな時、広報ちとせで《スマホ講習会》の募集記事を見つけ、「やってみよう！」と思い参加しました。

講習会では、優しい先生が地図やLINEの使い方などをわかりやすく教えてくれ、参加前、不安だった気持ちを忘れるくらい、すごく楽しい時間でした。

おかげで今は、キャッシュレス決済を使うことができたり、子どもや孫たちともLINEで連絡が取れるようになって、すごく嬉しいです。ぜひ参加をおすすめします。



証明書の申請が便利になる「書かない窓口」

何が変わる？

窓口を設置している専用端末にマイナンバーカードなどをかざすと、これまで手書きしていた氏名・住所・性別・生年月日が自動で印字されるようになります。
※法令などに基づき、一部の申請書で署名が必要なものがあります。

便利なポイント

- ・申請書の記載項目が減少
- ・受付までの時間が短縮
- ・キャッシュレス決済で支払いがスムーズ
- ※キャッシュレス決済は令和5年10月に運用開始済。

窓口で必要なもの

- ・マイナンバーカード
- ・運転免許証
- ・在留カード
- ・運転経歴証明書
- ・特別永住者証明書 のうちどれか1つ



子育て情報がスマホひとつでわかる

利用料金
無料！

ちとせ子育てアプリ



母子保健課 田村保健師



《ちとせ子育てアプリ》は、「切れ目のない子育て支援の充実」の実現に向け、生まれたアプリです。

妊娠や子育て中は、みなさん不安だらけだと思います。このアプリでは、市の子育て情報のほか、離乳食の作り方や子どもの急な体調不良への対処方法がわかる「子どもの救急」情報など、子育て支援につながる内容が盛りだくさんとなっています。

育児や仕事に忙しいママさん、パパさん、ぜひ登録してください。

便利なポイント

機能1 子育て関連情報の発信・閲覧機能

市の子育て関連情報の取得や、育児に必要な手続き、施設、イベントなどの検索がアプリから簡単にできます。

機能2 母子手帳機能

子どもの成長記録管理や予防接種・乳幼児健診のスケジュール管理が行えるほか、両親、祖母など家族間で育児の情報を共有できます。

機能3 予約サービス機能

母子手帳の交付申請や各種相談、子育てイベントの予約がアプリから24時間行えます。

アプリの利用方法

- ①二次元コードを読み取るか、各アプリストアで「母子モ」を検索しダウンロード
- ②アプリのプロフィール登録で「自宅の郵便番号」を入力
- ③「ちとせ子育てアプリ」が利用できます

【アプリ名称】

「母子手帳アプリ 母子モ～電子母子手帳～」

